

3月定例会 総括質疑要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質疑の様子をご覧いただけます。

代表総括質疑



令和8年度施政並びに財政方針
及び予算について
—快適な地域交通の推進について—



志友会 松浦 武志

議員 本市が運営する公共交通の利用状況や課題、今後の検討方針について伺います。

市民生活部長 本市が運営する公共交通の利用者は増加していますが、「シティライナーおおた」尾島線の利用者の減少や「おうかがい市バス」の運行コストが高いことや予約しづらいことなどが課題です。安定的な運行を維持するため、より効果的で効率的な体制への見直しが重要だと考えています。



議員 太田市地域公共交通計画の策定に向けた今後のスケジュールについて伺います。

市民生活部長 各種調査やビッグデータ分析で移動需要と課題を整理し、説明会などを経て、令和8年度末を目途に計画を策定予定です。策定後は成果を実感できるよう、着実に取り組んでいきたいと考えています。

議員 本市が目指す公共交通のビジョンや方向性など、今後の取り組みについて、市長の所見を伺います。

市長 自家用車から公共交通の利用へ市民の意識変容を促し、誰もが円滑に移動できる利便性の高い市民生活を目指すとともに、渋滞の緩和や交通事故防止につなげ、安心安全なまちづくりを推進していきたいと考えています。

■その他の質問

- ▷令和8年度予算編成について
- ▷第3次太田市総合計画 第2次実施計画の推進について
- ▷ミライにつながる産業振興について
- ▷市民に寄り添うデジタルシフトについて

代表総括質疑



令和8年度施政並びに財政方針
及び予算について
—観光振興について—



太田クラブ 白石 さと子

議員 本市の観光資源を生かした観光事業の取り組みについて伺います。

産業環境部長 金山周辺の寺院を巡る「上州太田七福神スタンプラリー」や市内の遺跡めぐりと工場見学、プロスポーツ観戦を組み入れた「おおた魅力再発見バスツアー」などを実施しています。また、令和8年度には新たなイベントとして大光院をライトアップする予定です。

議員 観光産業を取り巻く環境の変化を把握し、さらなる観光振興を図るためには、具体的な取り組みを定める観光振興計画が必須と考えますが、計画策定の有無について伺います。

産業環境部長 観光振興計画の策定予定はありませんが、今後は庁内で部局を越えた新たな仕組みを構築し、本市の観光行政を推進していきたいと考えています。

議員 今後の観光振興の取り組み

について、市長の所見を伺います。

市長 地域資源を再発見し、活用していくことは、「ミライにつながる産業振興」の一環として重要なことと捉えていますので、シンボルである金山や周辺の観光資源を活用した観光振興を官民連携で推進していきたいと考えています。



■その他の質問

- ▷令和8年度予算編成について
- ▷第3次太田市総合計画第2次実施計画の推進について
- ▷子育て支援について
- ▷空き家対策について

代表総括質疑



令和8年度施政並びに財政方針
及び予算について
—職員体制について—



創政クラブ 久保田 俊

議員 高まる行政需要の中、全体的な職員不足を会計年度任用職員が補っており、職員の年齢構成のゆがみを是正するためにも中途採用の実施について、所見を伺います。

企画部長 これまで行政職では実施していませんが、氷河期世代を対象とした試験やキャリアアップ枠の採用などによる中途採用を検討する余地があると認識しています。

議員 副市長2人体制について、今、市民生活の維持向上に必要なのは、もう1人の副市長よりもう1人の現場職員だと思いますが、その必要性和現場職員増員の必要性について、市長の所見を伺います。

市長 現場のマンパワーの充実は非常に必要であると認識しており、職員定数の見直しや年齢上限を上げた中途採用の体制を検討しつつ、デジタル化による業務の負担軽減に取り組んでいきたいと考えています。新たな副市長には、産業経済分野やデジタ

ル分野に強みを持つ人材を迎え、それぞれの強みを発揮してもらいたいと考えます。副市長2人体制により生み出された時間を活用して、私自身も積極的なトップセールスを行いながら、国や県との連携、産学あるいは海外の資源との連携も視野に入れ、未来型産業都市構想を実現させたいと考えています。



■その他の質問

- ▷新年度予算及び財政運営について
- ▷子育て支援事業について
- ▷公共交通政策について
- ▷まちづくり施策について

代表総括質疑



令和8年度施政並びに財政方針
及び予算について
—災害対策について—



公明党 前田 純也

議員 災害に備えて各地区に結成されている自主防災組織の育成と強化について伺います。

総務部長 自助、共助に関わる防災意識の向上を目的として、各地区で防災講座や研修、訓練などを通じて、防災力の強化を図っています。



議員 国土強靱化地域計画の改定内容を自主防災組織など広く市民に周知することで、防災への意識向上につなげ、対策に取り組むことが重要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 災害対策は日頃からの備えが重要ですので、ホームページや講習

会などを通じて市民に周知しながら、防災意識が向上していくよう取り組んでいきたいと考えています。

議員 企業や団体との災害時応援協定のさらなる拡大や災害対策本部の体制強化は極めて重要であると考えますが、所見を伺います。

市長 災害時の応援協定はさまざまな分野で協力を得ることが重要であり、令和8年度には太田青年会議所との合同事業として、防災に対する意識や知識を高めるための「防災キャンプ」を新たに計画しています。また、災害対策本部での職員の訓練を今後も継続し、関係機関との連携を強化しながら、活動体制を確立していきたいと考えています。

■その他の質問

- ▷予算編成について
- ▷公共施設等総合管理計画及び個別施設計画について
- ▷不登校対策について
- ▷ひとり親世帯への支援について